

能登支える郷土芸能



躍動感ある中野七頭舞で盛り上げる岩泉高

岩泉高（岩瀬雅明校長）が主催する「地域復興支援 郷土芸能フェス」が28日、岩泉町の町民会館で開かれた。県内3高校や、能登半島地震の影響を受けた富山県の南砺平高を招待して競演。伝統を受け継ぐ若き担い手の総勢約130人がステージで躍り、大船渡東が氣仙町けんか七夕太鼓、北上鞠南が鬼剣舞を披露。南砺平の郷土芸能部34人は、小気味よいささやきの音色が印象的な五箇山民謡「しきひ」や、地震で甚大な被害があ

岩泉高（岩瀬雅明校長）

動した。

岩泉の中野七頭舞で幕開けし、零石が上駒木野さん（76）が鬼剣舞を披露。南砺平の郷土芸能部34人は、小気味よいささやきの音色が印象的な五箇山民謡「しきひ」や、地震で甚大な被害があ

岩泉高主催のフェス



地震被害の大きい輪島市にゆかりがある「お小夜節」などを披露する富山・南砺平高の生徒たち

つた石川県輪島市にゆかりのある「お小夜節」で会場を魅了した。普代村壇内の向川田幸子さん（76）は「若い人の頑張り元気をもらつた」と拍手。南砺平の長谷英里子部長（3年）は「被災地に元氣や勇気を届けたいと思つて臨んだ。郷土芸能に取り組む仲間が全国にいることを再確認した。これからも頑張れる」と刺激を受けた。高校生による地域活性化、復興に歩む地域同士の結束を図掲したフェスは2回目。今年は岩泉高の探究学習とも連動し、2年生7人が実行委となつて協賛金を集めや進行を務めた。能登半島地震からの復興を願つて募金活動も行われた。同校郷土芸能同好会の坂下雄斗さん（3年）は「多くの人が来てくれて郷土芸能が地域に愛されていることを再確認した。これからも（能登地域の学校と）互いに励ましあい、地域を活性づけていきたい」と力を込めた。

(金野訓子)